

学校だより

川西市立多田小学校
平成27(2015)年11月2日

修学旅行に行ってきました

～豊かな心を育て、課題を解決していく力をつける～

10月26、27日と、6年生は修学旅行に行ってきました。修学旅行の目的のひとつは、広島での平和学習でした。被爆された方にお話をさせていただきました。とても悲しい、つらい体験談に聞き入ったひとときでした。「今、平和のバトンをあなたたちに渡しました。このバトンは、確実に次の世代に引き継いでください。」「今、あなたたちにできる平和行動は、いじめや差別のない学校を作ることです。人を大切にすることです。」何度聞いても、この言葉が深く心に残っています。広島を訪れ、平和について学習した一人として『平和』への思いをより強くしたことでしょう。そして平和集会では『平和への願い』を堂々と謳いあげ、黙祷と全校児童から託された千羽鶴を献納してきました。

小学校生活のなかでは、人や自然と『直接かかわる体験』の場が多くあります。この修学旅行でも、人とのかかわりや行動について、自分たちでめあてを決め、一人ひとりが意識して取り組むことができました。一人ひとりの子どもたちに役割がありました。一つ一つの役割がひとつに束ねられることによって大きな力となり、ひとつのことが成就しました。このような人とのかかわりに重きを置いた活動は、心の安定感、共に生きる安心感、人への信頼感、そして豊かな心を育て、課題を解決していく力をつけていきます。

これからも子どもたちは、さまざまな体験活動などに取り組んでいきます。また、学級活動や委員会活動など日常の活動を通して経験を重ね、力を培っていきます。一つのことを成し遂げるには、自分自身が全力を尽くすことを前提に、みんなと一緒に協力することが大切であることに気づくようになります。体験は子どもたちを成長させます。さまざまな役割を担うという責任が、子どもたちを成長させる触媒となります。



11月5日 137回目の創立記念日を迎えます

明治12年11月5日の創立から、137回目の創立記念日を迎えます。沿革の一部を紹介します。

明治12年11月5日

新田・平野・東多田の三村と多田院・西多田・矢間の三村が合併し、以上六村に柳谷・芋生・若宮の三村を加え多田村新田に多田小学校創立

大正10年8月

講堂校舎新築工事に着手、翌年3月竣工

昭和29年8月

市制実施により川西市立多田小学校と改称

昭和45年4月

本校より清和台小学校分離開校

昭和49年7月

現在の鉄筋本館校舎竣工

昭和51年4月

本校より明峰小学校分離開校

昭和53年4月

校舎増築(理科室・準備室・普通教室6)

昭和53年5月

創立100周年記念式典挙行、記念碑除幕

昭和55年4月

校舎増築(家庭科室・図工室・図書室・普通教室3)

平成12年10月

屋内運動場竣工(現在の体育館竣工)

平成14年6月

現在のプール竣工

平成26年6月～

北校舎耐震化工事と大規模改修工事

平成26年12月

北校舎耐震化工事と大規模改修工事完了

児童数も昭和53年には1000人を超え、昭和57年には1461人にもなりました。現在の児童数は559人です。



明治42年校舎増改築



現在の校舎と運動場

多田小学校の子どもたち がんばっています

防火ポスター

佳作 3年 児童

人権作文コンテスト

奨励賞

2年 児童

4年 児童

明るい選挙啓発ポスター

市入選

5年 児童

5年 児童

MOA美術館川西児童作品展

銅賞 1年 児童

銅賞 4年 児童

銅賞 5年 児童

入選

1年 児童

2年 児童 3名

3年 児童 3名

4年 児童

5年 児童 2名

11月23日は勤労感謝の日です

～はた(周りの人)をらく(楽)にする「働く」～

今月23日は「勤労感謝の日」です。この日は、勤労を尊び、お米などの生産を祝い、国民が互いに感謝し合うという趣旨で昭和23年に制定されました。私たちが安心して、不自由なく生活できるのは、社会全体で多くの人が働いて、生活に必要な物を生産してくれるからです。

はた(周りの人)をらく(楽)にするから「働く」という言葉をきっかけに、家事の分担やお手伝い、働くことの意義などについて話し合うのもいいかもしれません。労働ということを身近なものとしてとらえ、まずは家族、そして学校、地域へと目を向け、働くことに労を惜しまない人になってほしいと願っています。